

肥後銀行グリーン預金フレームワーク

1. 会社概要

肥後銀行は、2015年に設立した九州フィナンシャルグループ（以下、KFG）の一員として、熊本県に多くの顧客基盤を有する地方銀行です。熊本県内外に123の店舗・出張所があり、また上海や台北にも事務所を有し、2025年に創立100周年を迎えます。また、帝国データバンクが実施した2023年度の熊本県におけるメインバンク調査では、当行のシェアは約6割と高い水準を維持しております。

2. KFGのサステナビリティ推進の取り組み

KFGでは、2018年10月に地域・お客様・グループの持続可能性追求を目的として、KFGにサステナビリティ統括室、子銀行（肥後銀行、鹿児島銀行）にサステナビリティ推進室をそれぞれ設置しました。お客様の持続可能性、そして地域の持続可能性、ひいてはKFGの持続可能性に繋がるという、「好循環サイクルの実現」を目指す姿として取り組んでおります。

また、2019年2月には、国連が提唱するSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への主体的な取り組みをグループ全役職員で推進することを宣言する「サステナビリティ宣言」を公表いたしました。持続可能な社会づくり、地域経済の発展へ向けて取り組むとともに、お客様や地域の皆様との対話を通じて、地域全体にSDGsの輪を広げる活動を展開しております。

【九州フィナンシャルグループサステナビリティ宣言】

私たち九州フィナンシャルグループは、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、全役職員が主体的に取り組むことを宣言します。

1. 持続可能な社会づくりへの取り組み

私たちは、環境にやさしい経営の実践を通じ、お客様や地域の皆様お一人おひとりが、将来にわたって幸せや満足を実感できる社会づくりに取り組みます

2. 地域経済発展への取り組み

私たちは、地域価値創造グループの力を最大限に発揮し、お客様・地域の課題解決を支援することで、持続的な地域経済の発展に貢献します

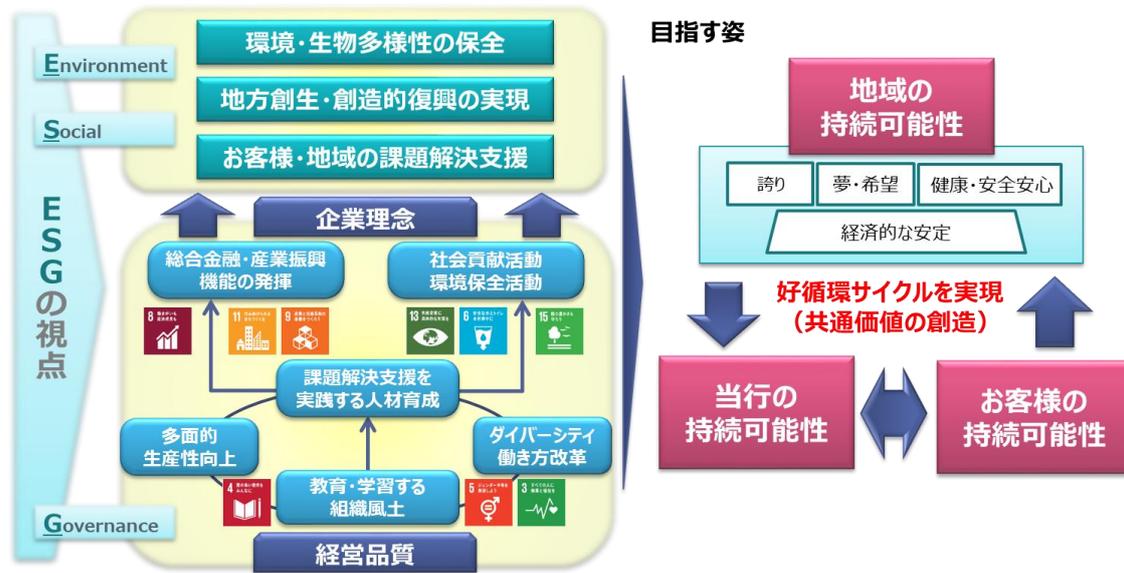
3. 普及・拡大への取り組み

私たちは、お客様や地域の皆様との対話を深め、地域全体が持続可能な社会となるように活動の輪を広げます

3. KFGの方針を踏まえた肥後銀行のサステナビリティの取り組み

肥後銀行は、KFGでのサステナビリティ宣言に基づき、「サステナビリティ全体構想」を制定しております。また、企業理念に基づいた「ESG経営の徹底」を行うことで、地域の持続的な発展と当行の企業価値向上を図り、SDGsの実現を目指しております。

【サステナビリティ全体構想】



【重要課題と具体的な取り組み例】

<p>環境にやさしい 地域づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水保全活動としての3本柱 【森林】水源涵養林の育成「阿蘇大観の森」植樹 【水田】水源涵養機能の活用「阿蘇水掛の棚田」での稲作 【草原】水源涵養機能の保全「阿蘇の草原」維持活動 ・災害等に強い街づくりの推進 ・ESG関連の投融資推進 ・紙資源の削減等CO2削減の取り組み
<p>全ての人を支える地域の 基盤づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業振興・復興支援の取り組み強化 ・地域間格差のない金融サービスの提供 ・FinTech、IT、キャッシュレス時代における公平な金融サービスの提供 ・事業承継支援等を通じた地域活性化支援の実施
<p>全ての人活躍する 職場・地域づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応じた金融商品・サービスの提供 ・健康経営の実践及びお客さま・地域の健康増進支援 ・女性活躍推進の取り組み強化 ・多様な働き方を推進する制度の充実
<p>持続可能な環境・社会に 貢献する人づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さま・地域の課題を解決する人材の育成 ・映像を活用した情報伝達と教育 ・金融リテラシー向上に向けた金融教育活動

また、これらの重要課題の解決に資するべく、以下の取り組みも行っています。

①CO₂排出量算定システム「炭削くん」の独自開発

お客様・地域の脱炭素経営のお取り組みを後押しするため、2024年1月、CO₂排出量を算定・可視化するシステム「炭削くん」を当行独自で開発しました。導入企業数は熊本県内を中心に約3,600社を超えています（2025年2月末現在）。本システムを導入いただくことがゴールではなく、可視化されたデータに基づき、コンサルティングやサステナブルファイナンスなど金融・非金融の両側面からお客様をご支援する体制を構築しております。

貢献するSDGsのゴール：



②再生可能エネルギー事業子会社「KSEナジー」の設立

地球温暖化問題に自ら主体的に取り組み、地域の脱炭素化を進めるため、2024年1月に当行グループ内へ再エネ子会社KSEナジーを設立しました。今後産官学金と連携しながら、地元熊本、九州のグリーンエネルギー、地域資源の域内好循環を生み出し、KFGおよび地域のカーボンニュートラル・脱炭素化の実現に積極的に貢献していきます。

貢献するSDGsのゴール：



4. サステナビリティ投融資に対する姿勢

KFGでは環境・社会課題の解決に貢献する事業を後押しするために、2022年2月にグループ共通の「サステナブル投融資方針」を制定しました。またKFGの目標として2030年度までにESG投融資1兆円（うち環境関連融資2,000億円）を掲げ、SDGs達成を見据えた地域の環境・社会課題に対し、グループ一体となって取り組むと共に、気候変動及び人権課題等への積極的な取り組みによるグループの企業価値向上にも取り組んでいます。併せて金融を通じた地域のインパクト創出への積極的な姿勢をより明確化すべく、2023年8月に当行並びに当行企業年金基金、九州みらいインベストメンツ、肥銀キャピタルのグループ4社で「インパクト志向金融宣言」にも署名しております。今後一層、サステナビリティ・リンク・ローンや、ポジティブインパクト・ファイナンスなどのファイナンス商品を通じて、地域におけるインパクト創出にも積極的に貢献してまいります。

5. グリーン預金の取扱いについて

肥後銀行はこうしたSDGsの実現と地域課題の解決に貢献するため、「グリーン預金」の取扱いを開始しました。「グリーン預金」は、お客さまからお預かりした資金をESGのうち環境分野、特に再生可能エネルギー分野に充当することで、お客さまに環境問題への取組機会をご提供させていただく預金商品です。取扱いに際しては、以下5項目からなるフレームワークを策定しました。

なお、本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則」の趣旨に準じているという観点から、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R & I）よりセカンドオピニオンを取得しています。

（1）グリーン預金概要

- ①募集対象：法人
- ②最低預入額：1,000万円（大口定期預金で運用）
- ③預入期間：1年
- ④適用利率：大口定期預金の店頭表示金利

（2）調達資金の用途

肥後銀行は、グリーン預金を通じて調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存融資に充当します。既存融資の場合は、遡って3年以内に実行された融資案件に充当します。

<適格プロジェクト>

カテゴリ	適格クライテリア
再生可能エネルギー	太陽光発電・風力発電・小規模水力発電、地熱発電、バイオマス発電（持続可能性が確認されたものまたは廃棄物由来のものに限る）に関する事業（設備の賃借、取得、建設、拡張を含む）

（3）適格プロジェクトの評価と選定プロセス

①プロジェクト選定における適格クライテリアの適用

本グリーン預金における環境面での目標は「気候変動の緩和」です。適格クライテリアの設定および適格クライテリアと「九州フィナンシャルグループ サステナビリティ宣言」

に基づいた肥後銀行が掲げる肥後銀行のSDGsへの取り組みに係る重要課題への取組との整合性の確認は、営業統括部を含む関連部署で確認を実施しました。適格プロジェクト融資の選定については、与信統括部が融資審査を実施の上、営業統括部において適格性を確認し行います。

②社会的（地元問題、環境、法令等）リスク低減のためのプロセス

肥後銀行では、対象プロジェクトの融資案件ごとに、現地調査や与信統括部での審査過程において、環境・社会的リスクの評価を実施し、融資の可否判断を行います。

(4) 調達資金の管理

グリーン預金を通じて調達した資金は、適格プロジェクトへの新規および既存の融資に充当します。当該調達資金が適格プロジェクトへの融資に充当されるまでの間は、現金または現金同等物として管理します。充当状況は、営業統括部が行内システムを用いて管理します。

(5) レポートニング

① 充当状況のレポートニング

グリーン預金の適格プロジェクトへの充当状況については、以下の項目を、グリーン預金の残高が存在する限り、概ね四半期ごとにホームページで開示します。

a. 充当したプロジェクトの内容、b. グリーン預金残高、c. 融資残高、d. 未充当金額
なお、充当状況に大きな変化があった場合は、適時開示します。

② インパクトレポートニング

グリーン預金の残高が存在する限り、以下の指標を年1回ホームページで開示します。

- ・CO2排出削減（見込）量（t-CO2）

（ご参考）

【KFG サステナブル投融資方針】

九州フィナンシャルグループは、持続可能なより良い未来を創造していくために、地域社会の課題解決につながる責任ある投融資を積極的に推進します。

1. 地域社会の持続的な発展や社会的課題の解決に資する以下に例示する事業等への投融資に積極的に取り組みます。

- ① 再生可能エネルギーや省エネルギーなど気候変動の緩和に資する事業
- ② 水資源や森林資源、絶滅危惧種の保護など生物多様性保全に資する事業
- ③ 農林水産業、観光業、医療・福祉など地域の基幹産業の振興に資する事業
- ④ 世界遺産および有形・無形文化財等の文化財保全に資する事業
- ⑤ 防災・減災に資する事業
- ⑥ 創業、事業承継、イノベーション創出など持続可能な社会づくりに資する事業

2. 環境や社会に対して負の影響を助長する可能性の高い、以下のセクターに対する投融資については、原則として取り組みません。

- ① 新設の石炭火力発電事業
- ② クラスター爆弾製造関連事業等の非人道的事業
- ③ 強制労働や児童労働等の人権侵害が懸念されるパーム油農園開発事業等
- ④ 原生林や生態系の破壊など環境への甚大な影響が懸念される森林伐採事業等

以上